

新型コロナ、南アフリカで変異ウイルス（オミクロン株）確認

最近の状況

NEWS LETTER第27号をお届けします。新型コロナの新規患者発生数は日本ではこのところ大幅な減少を示していますが、南アフリカで新たな変異ウイルスが確認され、WHOは「懸念される変異株」に指定しました。これに伴って世界各国で新たな防疫体制が始まっており、引き続き感染防止対策の継続に努めて行くことが必要となっています。



ススキ

11月準定例会を開催しました

2021年11月18日（木）19時半から21時5分まで10月準定例会をzoom形式で開催しました。今回は、「エネルギー分野でのカーボンニュートラル・DX等の動き」について平山周一氏（元JWF）から、お話を聴きました。内容は、カーボンニュートラルをシンプルに実現するにはエネルギー供給を電化し、その電源を原子力を含む再エネ等で非化石化するのがスマートなロジックである一方、エネルギー需要の7割超を占める熱・燃料需要のように非化石化や電化・再エネ転換が難しい領域が多分にあり、実現は簡単でないことを示したものでした。参加者（講師以外で10名）からは、活発な質問や意見交換が行われ、次のステージでの検討課題に繋がる視点が多数明らかになりました。エネルギー問題を含む地球温暖化対策は、全ての人々に関わる重大な問題であることから、本会でも今後中心的なテーマの一つとして取り扱っていく予定です。

水道公論12月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは、「気候変動問題—対策技術について」（今井茂樹氏）、コラム「海外水ビジネスの眼」では「いろいろなGXX」を掲載します。

定例会・準定例会の計画について

- ZOOM幹事会が12月10日（金）20時から。前回に引き続き「次のステージの検討」についての集約のためのフリートーキングを予定しています。幹事以外の方のご参加も歓迎します。
- 今回も、zoomによる準定例会とし、12月16日（木）19時半から21時に開催。「研究会の次のステージについて」を取り上げます。後半、ZOOM忘年会もします。多数の方がたのご参加を期待しています。
- 次期ステージの計画検討に関連して、引き続き、テーマ別のzoomミーティングを随時開催しています。また、若手の方たちとの意見交換も予定しています。関係の皆様には、個別にご案内をさせていただきますので、協力をお願いいたします。

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。